

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保健センター施設整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	04	01	01	10
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保健センター	意図	保健センターの施設整備を図ることで、保健衛生活動にふさわしい拠点となる。
事業内容	保健・医療の拠点としての機能を担う保健センター施設（昭和62年3月竣工）の長寿命化、利便性向上を図るため、計画的に改修工事を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	後期基本計画に沿って整備改修を行ってきた。 平成22年度：アスベスト撤去工事、平成23年度：空調設備更新工事（ESCO事業）、平成26年度：屋上防水工事、平成29年度：外壁調査及び改修工事設計業務・3階女子トイレ改修工事、平成30年度：駐車場等整備工事・外壁改修工事・受変電設備更新工事・非常用発電設備更新工事を実施してきた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	平成30年度は、駐車場等整備、外壁改修、受変電設備更新、非常用発電設備更新工事を実施した。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 保健センターの大規模改修を計画的に実施できた。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			4,467,920	68,895,080			
事業費(b)(円)			3,125,520	67,576,680			
うち一般財源			3,125,520	67,576,680			
職員給与費(c)(円)			1,342,400	1,318,400			
人役・職員(人)			0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	計画的に施設設備の改修を実施し、施設の長寿命化を図る。	③取組における課題(Check)	施設の長寿命化と利便性向上を図るため、今後も計画的な改修を実施していく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	外壁改修工事、受変電設備及び非常用発電設備の更新工事を実施した。保健センターの駐車場不足を解消するため、隣接する境界部分を整備し、賃貸駐車場を100台分を借り上げた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	個別施設計画に基づき、計画的な改修を実施していく。